



新座中だより

令和4年度 1月号



〒352-0011 埼玉県新座市野火止二丁目4番1号
電話(048)478-3668 FAX(048)482-0131
新座市立新座中学校

学校教育目標

強く 明るく 考える

何事にも負けない強い気持ち

校長 高橋 利明

新年明けましておめでとうございます。

それぞれの想いで令和5年を迎えられたことと思います。3年生にとっては進路決定の季節となりました。1月中旬の県内私立高校受験に始まり、都内私立高校受験、さらに県公立高校受験と、心休まることのない日々が続きます。

さて、受験（受検）ともなれば、その結果は全ての生徒にとって、うれしい結果とはならない場合もあります。第2希望もあれば第3希望に進学しなければならない場合もあります。それを失敗ととらえるかは、本人の気持ち次第です。私たちの生活において、すべてが思い通りにいくことは難しいことです。しかし、現代っ子は、失敗や挫折の経験がほとんどなく、そのため、一つの失敗により、私の人生は終わりだと、悲劇的に考えてしまう傾向があります。極端な場合、自らの生命を自ら絶ってしまう若者もいます。大変悲しいことです。「右がだめなら左がある」、「AがだめならBもCもあるさ」と考えることができなくなります。一つの失敗が次に大きく飛躍する源になる、また、「失敗を生かす」とのプラス志向に考えることが大切です。失敗の経験のない人はいません。是非、「失敗も時にはあるさ」と、何事にも負けない強い気持ちを持った人になってほしいと願うものです。

凡事徹底

学校は、多くの人たちが集まって生活をしているところです。そこにはマナーや約束事があり、学校にいるみんなが、それらを守り、実行してはじめて学校生活が安全で楽しいものになります。それらの基礎・基本となるものを、新座中学校では、「凡事徹底」、「自他共栄」、「文武両道」としています。

この三つの言葉は、自分の能力や持ち味を伸ばしたり、他の人たちとの関わりをよりよくしたりするために大切なものです。生徒の皆さんには、この意味をよく理解し、実行して、しっかりと学校生活を送ってほしいと願っています。

特に、一つ目の「凡事徹底」ですが、これは、「あいさつをしよう」、「時間を守ろう」、「人の話をしっかりと聞こう」、「責任を果たそう」というものをしっかりと守ってほしいと思っていますが、2学期後半には、移動教室での授業に間に合わなかったり、ふざけたりして廊下を走ってしまう生徒が増えてしまいました。

そこで、全校朝会で校長から、「あいさつ」と「廊下歩行」と「5分前行動」の3つをあらためて守りましょうと話をしました。

少しずつ、意識して行動出来てきましたが、全員が実行できるように頑張してほしいものです。

「凡事徹底」

「自他共栄」

「文武両道」